

高二 古文

第九回 小テスト

出題範囲

古文単語

330

121 から

135

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、
提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

単語・文法小テスト

氏名

点数

1 次の傍線部の口語訳として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 まことにさにこそ候ひけれ。(徒然草)

- ①すべて ②もとのまま ③そう ④普通

2 かくおとなしき心あらむとこそ思はざりしか。(十訓抄)

- ①それ以上に ②このように ③そんなに ④あれこれと

3 才をもととしてこそ、大和魂の世に用ゐらるる方も強う侍らめ。(源氏物語)

- ①和歌 ②人格 ③学問 ④家柄

4 立て籠めたる所の戸、すなはちただ開きに開きぬ。(竹取物語)

- ①なぜか ②自然と ③つまり ④すぐに

5 いとほつらく見ゆれど、志はせむとす。(土佐日記)

- ①贈り物 ②計画 ③決断 ④言い訳

5	4	3	2	1
〔	〔	〔	〔	〔
〕	〕	〕	〕	〕

6 用ありて行きたりとも、その事果てなば、とく帰るべし。(徒然草)

①きちんと ②いったん ③早く ④いつかは

7 いつしか梅咲かなむ。(更級日記)

①もつと ②いつか ③早く ④必ず

8 十二月の二十日あまり一日の日の戌の時に、門出す。そのよし、いささかにもに書きつく。(土佐日記)

①情景 ②記録 ③事情 ④感慨

9 散ればこそいとど桜はめでたけれ(伊勢物語)

①やはり ②いっそう ③本当に ④逆に

10 かねてのあらまし、皆違ひゆくかと思ふに、おのづから違はぬこともあれば、いよいよ物は定めがたし。(徒然草)

①すぐに ②偶然に ③結果として ④逆に

10 〔 〕

9 〔 〕

8 〔 〕

7 〔 〕

6 〔 〕

